

◎地震が発生したら・・・

1 地震について

日本は地震が多い国です。1978年、宮城県でも宮城県沖地震があり、大きな被害がでました。近い将来、また大きな地震が来るということが予想されます。

地震は地下のプレートや断層が動くことにより、発生します。世界の地震の15%が日本周辺で発生するといわれています。過去100年の間に日本列島を襲った地震の歴史をたどると、平均1年半に1回、犠牲者を出した地震が発生しています。残念ながら、現在のところ地震発生の確実な予測はできません。

4 避難所へ避難してください

緊急災害時に避難する必要があると判断されたときに、市町村は「避難指示」を発令し、避難所を開設します。

災害時には、学校や公民館などが避難所となります。事前に、自宅近くの避難所を確認してください。

避難所には、食べ物、飲み物、医療、眠るところ、情報などがあります。国籍や在留資格を問わず、だれでもどこの避難所でも利用することができます。

7 情報源

宮城県の災害情報は、ホームページやテレビ・ラジオ、携帯サイトなどがあります。正しい情報で行動をしましょう。

不安な場合は、宮城県国際政策課や宮城県国際交流協会に、お問い合わせください。

ホームページ：<http://www.emis-miyagi.jp/>

携帯サイト：<http://www.emis-miyagi.jp/>

宮城県国際政策課：TEL022-211-2971

宮城県国際交流協会：TEL022-275-3796

災害用伝言ダイヤル：171

8 その他の災害

災害には、地震のほかに、水害、雪害などがあります。雨が急激に多く降る集中豪雨などが6月～9月頃に発生し、川が増水したり決壊したりことがあります。強く雨が降り続いたら、川に近寄るのは危険です。

また、雪害は豪雪によって発生する被害のことです。豪雪により、雪下ろしや雪崩で命をなくされる人もいます。日ごろから、災害に関する情報を把握して下さい。

EMIS地震情報・気象情報 メール配信登録手続き：<http://www.emis-miyagi.jp/>

2 身を守る

地震の規模により棚から物が落下してくることがあります。物が落ちたり、割れたりすると、気が動転しがちですが、まず落ち着き、テーブルなどに身をかくし、頭部を保護し、自分の身の安全を確保しましょう。

3 火を消す

地震が発生すると、ガス漏れや、ストーブの火などから火災が発生しやすくなります。一旦、地震がおさまったら、すばやく火を消し、ガス器具は元栓を締め、電気器具は電源プラグを抜き、ブレーカーをおろしてから避難しましょう。

5 避難するときは・・・

できるだけ歩いて避難しましょう。(車で避難すると事故や渋滞のもととなります。)避難の際の持ち物は、非常持ち出し品に加え、パスポート、個人の信仰に関わるものなど最小限にしましょう。服装は動きやすい服装にしましょう。

また、避難所が遠い場合や閉鎖されている場合などは、落下物の危険性がないような広い場所へ避難しましょう。

6 地震時に危険な場所

寺や神社：崩壊しやすい門や像があります。

高い建物：建物の外壁、看板、ガラスなどが降ってくる可能性があります。

住宅の塀：塀はとても崩れやすいです。

海岸：津波が発生することもあります。ラジオなどで津波情報をよく聞いてください。

山の麓：急傾斜地域では、山崩れ、がけ崩れが起こることがあります。